

区政会議の主なご意見に対する区の考え方について（防犯・防災部会）

No.	項目	ご意見の概要	区の考え方	運営方針への反映
1	担い手・連携	担い手が不足している。人材が固定化・高齢化している。人と人とのつながりが重要。	市政改革プラン2.0（区政編 平成29～31年度）の考え方を踏まえ、部会単独ではなく、区役所全体で取り組んでいく。	平成29年度 改定版
2		地域と学校、企業、商店街、寺院、福祉施設等との連携、エリア間の連携が必要。普段から理解・交流が必要。	地域において、多様な主体の連携・協働が図られるよう支援する。	平成30年度 4-1
3	広報	SNSの活用を。	ICTを活用した情報発信に取り組む。	平成30年度 4-1、2、3
4	防災・減災	自助の知識を増やす学習会などが必要。平時からの要配慮者との関わり方を教えてほしい。	自助・共助の取り組みにつながるよう学習会等を実施し、区民の防災・減災意識の向上に取り組む。（要配慮者との関わり方を含む）	平成30年度 4-1
5		避難所・避難経路の周知が必要。訓練の周知で関心を高めることができる。	避難場所や被害想定などの情報発信や防災訓練等を実施し、地域防災・減災力の向上に取り組む。	
6		備蓄を増やすことが必要。企業から備蓄の協賛をもらってはどうか。	各団体や企業とは、災害時における物資の供給等の協力に関する協定を、規模に応じて市や区レベルで締結している。今後も流通備蓄について新たな防災協定の締結に努める。	—
7	防犯	企業と連携した防犯活動ができないか。	犯罪防止の啓発ポスター掲示など、企業と連携した取り組みを実施する。	平成30年度 4-2
8		特殊詐欺・女性犯罪・消費者保護に関して周知啓発が必要。	被害防止や防犯意識の向上を目的とした講習会や自己防衛対策工場の啓発活動を実施する。	
9		他地域と連携した大きなエリアで、青色防犯パトロールをできないか。青パトの音声について種類を増やせないか。	青色防犯パトロール活動の他地域との連携について課題を整理し、検討する。より効果的な活動を促進する。音声の種類については、豊富に用意しているので、警察か区に相談していただきたい。	
10		町会単位で清掃すれば、つながりづくり・犯罪防止につながる。	地域での自助・共助の取り組みとして実施していただきたい。	—
11		防犯等や各玄関先の明かりで、まちを明るくして犯罪防止につなげてはどうか。	街路防犯灯については、例年、設置助成を行っている。地域で必要な箇所があれば制度を活用し設置していただきたい。	—
12	交通ルール	自転車マナー・ルールをもっと啓発することが大事。	警察等との連携によりルール・マナーの啓発に取り組む。	平成30年度 4-3